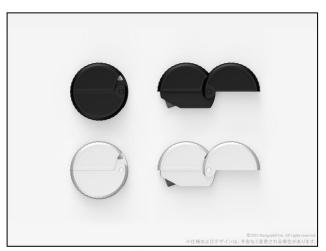
2022 年 10 月 11 日 株式会社デザインフィル

# 2022 年度グッドデザイン賞(G マーク)受賞! 「ミドリ」『アルミダンボールカッター』 『スローコンベックスメジャー』、『紙製ケースの修正テープ』

株式会社デザインフィル(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:会田一郎)は、デザインを通じて生活を楽しくするインスピレーションを提供し、人々のコミュニケーションを豊かにするデザインカンパニーです。

この度、当社が展開するプロダクトブランド「ミドリ」より『アルミダンボールカッター』(2022 年 11 月発売予定)、『スローコンベックスメジャー』(2022 年 12 月発売予定※TOUCH & FLOW 10 月 26 日先行販売)および『紙製ケースの修正テープ』(2023 年 1 月発売予定)が、公益財団法人日本デザイン振興会(JDP)主催の「2022 年度グッドデザイン賞」を受賞しました。

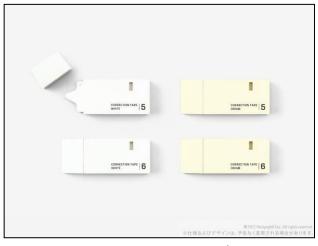




『アルミダンボールカッター』



『スローコンベックスメジャー』



『紙製ケースの修正テープ』

# <審査委員のコメント>

#### **■**『アルミダンボールカッター』

プラスチック製で販売されていたものと同じコンセプトのダンボールカッター。外観から内部機構までプラスチックが 未使用なアルミ製のダンボールカッターとしてリファインされた。交換可能な耐久性に優れたセラミック刃の切れ味と、 軽すぎない程よい重量感のアルミ製の筐体の新しいカッターは、プラスチック製に比べて使いやすさの向上も感じられその点を評価した。

#### **■『スローコンベックスメジャー』**

スタイリッシュでコンパクトなため持ち運びに最適。巻き戻しがゆっくりで安全性にもしっかりと配慮している。 10cm ずつ色が変わる目盛りも読みやすい。ワンプッシュでロックや巻き戻しができるため、片手での使用も可能。 こうしたデザインは想定ユーザーのみならず、弱視や片麻痺症者など多様なユーザーにとっても使いやすく、活躍の 幅が広いことも魅力である。

#### ■『紙製ケースの修正テープ』

製品を構成するほとんどの部品がサステナブルな視点でもって検証・改修され、その結果、製品の姿が全く新しい意匠に生まれ変わっている。その静かで精緻なデザインの佇まいは、デザインと設計チームの膨大な開発努力の賜物であろう。これまでの修正テープのデザインとは一線を画すシンプルで無垢な新しい印象も、その構成素材である紙を想起させ、デザインの落とし所も見事である。変化し続ける社会の動向を製品開発に反映し、丁寧かつ高品質な意匠と技術開発でこれを達成している点が高く評価された。

#### 【製品特徴】

### ■『アルミダンボールカッター』(2022 年 11 月発売予定)

ダンボールの開梱から封筒の開封、雑誌や新聞紙の一枚切りまで多用途に対応したダンボールカッター。本体が 180 度開閉し、閉じた状態では携帯性に優れた丸型、開くと手にフィットし握りやすいサイズになります。刃は交換 式で耐久性に優れたセラミック刃を使用。本体の材質はアルミ製で、保管に便利なマグネットが内蔵されています。

## ■『スローコンベックスメジャー』(2022 年 12 月発売予定 ※TOUCH & FLOW 10 月 26 日先行販売)

ゆっくり戻って安全安心『スローコンベックスメジャー』。このメジャーの最大の特徴は金属テープが常にゆっくりと 戻る新機構を搭載しており、大人から子どもまで安心してご使用いただけます。本体の側面がテープと連動して 回転するため、指で押さえるとテープの長さを固定できます。また、本体背面には保管に便利なマグネットを内蔵 しています。本体のサイズは子どもでも握りやすいコンパクトなサイズ感にこだわりました。

# ■『紙製ケースの修正テープ』(※)(2023年1月発売予定)

文房具の中でもプラスチックの使い捨て比率の高い修正テープのケース・内部構造・剥離フィルムなど全てのプラスチックパーツを燃やすごみとして廃棄が可能なバイオマス素材(紙 51%+PP49%)と紙に置き換えたサステナブルな修正テープです。テープの色は紙色に合わせて使い分けができるように白色とクリーム色の2色展開です。※『紙製修正テープ』に名称変更

(※)製品の詳しい情報および発売日につきましては、改めてプレスリリースなどでご案内いたします。

以上

#### グッドデザイン賞について

1957 年創設のグッドデザイン商品選定制度を継承する、日本を代表するデザインの評価とプロモーションの活動です。国内外の多くの企業や団体が参加する世界的なデザイン賞として、暮らしの質の向上を図るとともに、社会の課題やテーマの解決にデザインを活かすことを目的に、毎年実施されています。受賞のシンボルである「G マーク」は優れたデザインの象徴として広く親しまれています。

http://www.g-mark.org/

以上

デザインフィル www.designphil.co.jp/

デザイン賞 受賞歴 https://www.designphil.co.jp/style/prize/#2019xs